

Q 農政の新しい基本計画は

A 時代の要請に促した 施策で：



水間 茂議員

対しての認識と、農業委員会の対応を問う。
■町長 新たな需給調整システムに対応するため、自ら生産目標数量と厳格な配分ルール

●水間 国の新しい施策の展開方向として担い手の明確化と支援の集中化など新たな施策の方向性が示された。経済優先、大規模化そういう方向にすべてが進むと地方は大きな打撃をこうむることが心配だ。本町のような中山間地域にとっては農業にかかわるものそれぞれに見合った役割を担い、生産活動や農地保全活動にかかわる集落営農の推進が重要だ。町長の基本的な考えと具体的な取組みに



にぎわった組合法人「かみだに」の収穫祭

連携の中で重点誘導地区指定や国県補助事業と最大限活用するとともに、補完的な施策として町農業振興対策補助事業の改正を行い支援の継続を図る。町農業委員会も県や町への要望活動、農用地利用集積や農業相談、幹旋活動など活発に行っている。

を構築するとともに「水田農業ビジョン」や「産地づくり交付金」の見直しなどの条件整備を行う。それには、現場の意見を十分反映

Q 新年度の意気込みは

A 改革初年度を自らが先頭で



奥田正和議員

■町長 行政改革に全力で取り組む。約70加入組織団体中4団体の会長、10団体の副会長、理事、監事を担っている。費用弁償については統一処理法を検討中だ。グループ制を含め再編整備実施。行革ワーキング会議を設置したい。

●奥田 次年度の意気込み、取組は。多役、多忙と聞くが費用弁償はどうしている。効率良い体制づくりのためグループ制の導入の考えは。新発想の展開は。

Q 職員配置の考えは

A 人材育成を中心に

■町長 行政ニーズへの対応は迅速に出来るよう計画的に再編する。臨時職員は職員同様純減する。配置は希望提出もあるが人材育成が重要と考える。

●奥田 適材適所もあるが、やりがいのある仕事で事務効率化に望まれる、地域貢献上、地区担当を置くことも良い。他町では臨時職員を雇用しない所もあると聞く。当町でも可能なのか。

Q 子どもたちの意欲向上のために

A 得意・楽しみを見 出せる環境整備

●奥田 子どもたちの夢や希望を達成するため、英語力を伸ばす方策として海外研修など思い切った施策の考えは。また各種団体を紹介応援などの考えは。



英語教育風景

■教育長 色々な学びの環境整備が必要と考える。英語教育の時間を全小学校週1時間実施する。独自の海外研修制度も実現したい。つねに、子どもたちの活躍を情報発信し応援したい。

Q 財政、行革はどうなるか

A 財政健全化は行革プランで示す



矢山 武議員

●矢山 借金の残高は200億円をこえ、今後さらにきびしくなると思われるが、安定財政の方向を示すべきで

はないか。
行革ビジョンによりサービスの低下、負担増、福祉の後退についての考えは。
■町長 重点施策を健康づくり、農業の振興、教育の充実、情報基盤の整備に、財政健全化は行革プランで示す。

Q 家族農業への対応は

A 現場の意見により振興を



待ちどおしい昼食時間

●矢山 農業構造改革により中山間地は、崩壊しようとしている。大豆、麦などの生産が続けられる対策など物を作る仕事を大切にする取組みが必要であるが、どうか。

■町長 集落営農組織に参加することで経営安定対策が可能である。

産地づくり対策で、現場の意見を反映させ条件整備を行う。

Q 保育所運営道筋がみえない

A 民活導入で改革をめざす



小川信晃議員

●小川 幼稚園を誘致しているが公設保育所との関係がみえない。大半をしめる人件費、職員の意識改革サービス、勤務体系、配置形態、改革をするのか。

■町長 幼稚園と保育所は制度間の違いはあるが効率的運営をめざすため民間参入の促進を含め幼保一元化の方向、人件費は国の保育基準額との格差があり、保育所の適正規模の実現と公設民営の導入を考える。職員も今までの既成概念を払拭し、勤務体制の見直しを行う。

Q 本庁と支所のバランスはこれでよいか

A システム構築づくりに努める

●小川 運営費はいくらにかつてもいいものではない。人員配置、勤務形態、職務分掌、維持費を含め現状分析し、改革改善を求め

■町長 本庁と支所のあり方は合併協議の結果現在に至った経過がある。しかし簡素で効率的な行政システム構築が必要事務量など現状分析を行い改善すべきは改善し機能的な体制づくりに努めてゆく。

Q 活性化プロジェクトチームを結成せよ
A 施策を推進しながら検討



寒いけど手洗いしなくちゃね

●小川 税収の激減に加え補助金の廃止で急速的に困窮状態に突入、内部改革も重要だが財源を産む努力に欠けている活性化策を協力に推し進める必要がある。

■町長 新たな財源を産む活性化策の推進は大変重要、健康づくり、農業振興、教育の充実、情報基盤の整備の重点施策を進める上で必要なら具体的アクションが起こせる推進体制を充実してゆく。

Q 幼稚園と公的保育を守る町政は
A 安心して子育てのできる保育所を

●矢山 幼稚園を進める中で今後の保育所の不安がある。方向性はつきり示して幼稚園の誘致を進めるべきである。

■町長 今後の保育所は、民間の参入を促している。再編は緊急性を要するので、安心して子育てのできる保育所運営の実現をめざす。

保育所の再編、民営化は、関係者の意見を聞くべきではないか。



豊田 勲議員

●豊田 町が保有している財産で、今後も利用する予定がなく、管理費が必要な物件はどれくらいあるのか。該当するものは適正な方法と価格で処分を。学校の空教室は保育所などに有効活用を。

Q 未利用公有財産は処分を
空教室は有効利用を
A 山林93ヘクタール検討中

■財政課長 山林14件193筆93ha余と宅地、建物がある。今後利用が見込めない物件は質問のように処分したい。元の地主が手放された経緯は尊重する。

Q 冬の成人式その成果は

A 199人72%の出席

●豊田 長期間成人式は夏に開かれ、成人者の経費軽減が図られていた。今回は着物姿が多く、はなやかではあるが経費が大変だと思う。冬開催の成果は。

■教育長 「成人の日」本来の意義を今回示した。対象者275人で199人72%の出席。式典と講演、アトラクションをした。成人者の真摯な対応で静粛に開催出来た。

Q 自治振興の方向性は
A 住民の自発的組織化を期待



田坂 進議員

●田坂 自分たちの地域は、自分たちで考え、つくるといふ事でこの1年間公民館単位で11の大組織ができていく。今後組織間の交流

行政との連携が必要と考える執行者としての考えは。
■町長 住民自治組織間の交流と行政との連携は重要であると認識している。町としては情報提供や研修会の情報交換の場の設定を行い連携、交流の場をつくりたい。

Q ベビーブーム世代の
Uターン策は
A 定住対策という視点を
明確にした施策で

●田坂 世羅町でも、過疎・高齢化が進む中で世帯数の減少が予想されるが、歯止めとは行かないまでも、Uターン策、Iターン策が急務と考えるが、また空家対策についての考えは。

■町長 先の国勢調査では、H12年の調査と比較してみると、広島県で0・1%（2153人）減少し、世羅町では4・2%（830人）減少となっている。このような状況の中、町の様々な施策の中に安住対策という視点を



Iターンで灯りがもった家

明確にした施策を推進してゆきたい。またせら夢公園。尾道、松江線フライトロードの整備促進とあわせ今後の定住策を進める。空家対策については、個人情報に関わる問題もあるので、行政として直接関与する事は難しい。自治組織などで集約してもらい町として活用してゆきたい。

文化財の観光活用は

方策を研究したい



福田 豪議員

●福田 町内の観光農園は、個々の経営努力とアイデアで、年間では100万人を超す入り込み観光客があると聞く。しかし、残念ながら季節営業の傾向が強い。また、世羅町は県内有数の文化財の宝庫とも聞く。これらの保護、保存は当然だが、観光に活用できないか。

■教育長 本町は山陰・山陽の文化の交流点であり、大田庄として発展した。独自の歴史文化を築く中で、現在指定された文化遺産だけで175件あり、まだ発掘されていないものも多くある。これらはほとんどが個人所有である。町内各所に散在しており、即観光活用は、むずかしい。町長部局や商工会などと連携して、方策を研究したい。

農業と農村地域社会

時代に即した支援の継続

●福田 出口の見えない米の生産調整、輸入農産物の増加、食の安全等々、農業は危機的

・閉塞状況にある。これを放置することは農業の衰退にとどまらず、農村地域社会の崩

壊を招きかねない。このことをどのようにとらえ、導こうとするのか。



文化の拠点、大田庄歴史博物館

■町長 あくまで世羅町の基幹産業は農業であり、地域農業の担い手は営農集団や集落法人あるいは認定農業者であると認識する。しかし、世羅町という小さな自治体だけで、農業・農村の課題の全てを克服するには限界がある。農業者代表や国、県を含め、行政機関の専門性を活かし、支援制度の有効活用と時代に即した支援の継続を図る。

入札指名業者の選考基準は

原則、町内に本社



竹本道紀議員

●竹本 合併以来1年半が経過しようとしている。建設業・納入業・ゴミ処理業等の入札指名の選考基準が、旧3町の制度より大きく変わるのか変わらないのか。町内業者だけではなく、事務所があれば良いとか色々聞こえる。周りの町が全部『市』になつたので過剰反応かと思われるが本町の考えは？

■町長 世羅町建設工事指名業者選定要綱に基づき、建設工事等指名業者選定委員会にはかつて審査し決定している。審査にあたっては、広島県が行う建設

業者の経営に関する事項の審査結果を参考とし町としてランク付けをし行っている。地元業者育成という観点から旧町単位を基準に選考して来た。H18年度から新たな選考基準のもとに選定する。現在、選定基準等について検討するよう指示している。

る。財政状況のきびしい中、地元産業の活性化を図る上で一定の基準を設け選定を行いたいと考えている。基準の中には、原則「町内に本社を有する業者」を中心に行う。新世羅町の一体感を醸成する上で、入札率の高止り等考慮する中で一定規模以上の工事等は従来選定から全町へ拡充することも検討したい。



工事中の公共下水道事業

Q

世羅町役場の解体費用は

A

適正な入札価格と考える



岡田武士議員

●岡田

談合が報道される中で入札は本当に公正であったのか。①談合情報はどうして知ったのか。②入札業者と入札価格は訂正か、落札率は。

■町長 談合をほめかす電話があり、緊急に公正委員会を開き入札中断し調査を行った。②完光興行(株)・西大田グループ・備三セクター(株)・藤鷹工業(株)・森剛(株)で最低入札額は3950万円、契約額は4147万5千円。落札率は96・3%である。

Q

幼稚園誘致の効果は

A

効果額は4200万と試算

●岡田

①恵泉学園の内容と本町にとってメリットは。②甲山保育所、大田保育所は継続か、廃止か。③敷地、無償貸与の内容は。

■町長

①幼稚園設置に関し保護者の要望もあり、学校法人恵泉学

園に開設をお願いすることとなった。この企業は、尾道にめぐみ幼稚園や介護事業所など福祉事業を展開する企業である。効果は約4200万と試算している。②2保育所については保育所再編検討委

員会の意見を聞き対応したいと考えている。③敷地については5年間無償貸与とし5年後に見直すことで合意している。

Q

H18年度予算の目玉は

A

農業・教育・情報基盤整備など

●岡田

H18年度予算においてキラリと光るものがあるなら3点ほどあげてほしい。

■町長

①地域情報基盤整備事業(CATV)、②デマンド交通運行事業、③簡易水道事業(世羅西地区)。3点に絞るのは困難であるが他に、児童医療費支給事業(12歳まで)や、せら夢公園などが上げられる。



皆さんからの
陳情と請願
このように決めました

■採択となったもの

◎山田川ダム残土処分地にグランドゴルフ場を設置してほしい。

東グランドゴルフ教室 代表者 黒田 吉幸

◎地域営農集団にさらなる活動助成をしてほしい。

世羅町地域営農集団連絡協議会 会長 道下 利明

◎教育の充実と教育関係の予算の確保をしてほしい。

社会法人広島県教育会世羅支部 会長 黒木 武彦

◎宇津戸小学校の屋内運動場施設建設を、早期に実現してほしい。

宇津戸地区に簡易水道を早期に整備してほしい。

宇津戸地区部落長会 会長 田坂 龍治

◎新町の町歌・音頭を早期に創作し実現してほしい。

せら町・歌と踊りを愛する会 会長 大工谷秀夫

◎町道を新設し、整備してほしい。

世羅町伊尾 代表者 杉原 則人

■不採択となったもの

◎国からの押しつけでなく住民本位の行財政が地域自治体で実施できるようにしてほしい。

広島県労働組合総連合 議長 小野 進

◎住民本位の地方財政を確立し地域とくらし・サービスを守るため、意見書に関係機関に提出してほしい。

広島県労働組合総連合 議長 小野 進

広島県公務労組連合会 議長 角田 豊

矢山武議員功労賞授与

2月22日
広島市で行



なわれた広島県町村議会議員研修会において在職25年以上の長きに亘り町議会議員として地方自治振興に寄与された矢山武議員が功労賞を授与されました。